

本委員会は、工法ナビゲーションシステムの公平かつ円滑な運営を目的として活動しています。昨年度は平成17年末に実施した利用者アンケート結果を重視し、利用者満足度を高めるためつぎのような改善を実施しました。

・トップページのリニューアル

工法ナビのトップページは内容が豊富なため、すべてを表示するためには下にスクロールする必要がありました。それをスクロールの幅を少なくし、すっきりしたトップページに更新しました。

・ロゴマーク

工法ナビのロゴマークをつくり、工法登録協会のパンフレットやホームページのリンクなどに使用していただけるように準備しました。

「利用登録4500人を突破」の見出しで2007年2月19日付け建設通信新聞に記事が掲載されました。その影響でアクセス数、登録者数が急増中でアクセスカウンタも6万に届きそう。5000人目の登録者がもうすぐ誕生しそうです。

—— 非開削協が運営 ——

工法ナビシステムに人気

利用登録者4500人突破

日本非開削技術協会(松井大悟会長)が運営する「工法ナビゲーションシステム」(http://www.kouh.com)の利用登録者が4500人を突破し、人気を獲得している。インターネット上で、推進工法などの技術・積算資料や実績表をダウンロードしたり、表をダウンロードしたり、条件を設定して対応可能な工法を調べたりできる。登録工法数も89件に拡大、堤防・舗装・土工・基礎工事などの検索・表示・実績表などの機能が追加された。

2006年12月からは、特殊工法、地中調査、土質調査、資材など各種工法の検索・表示・実績表などの機能が追加された。設定し対応可能な工法を選定できる。推進工法の基礎知識や理論の検索、相談窓口の提供なども行う。ユーザー登録は無料。

46団体が、61件の推進工法のほか、7小型圧入工法、5取付管推進工法、5改良工法、6更生工法、5 HDD工法の合計89工法を登録し、情報を提供している。

同システムは、2003年10月にスタートした。登録工法のパンフレットや技術・積算資料、実績表などの検索・表示・実績表などの機能が追加された。

トビタケのコーナーも新設した。

2月19日付け建設通信新聞の記事

UP DATE

■第39回JSTT理事会を開催

2月27日当協会会議室において第39回理事会を開催した。以下の内容を審議・報告し、決議事項が承認された。

- ①会員の入会承認と会員数推移状況の報告
- ②平成18年度事業報告および決算推計の報告
- ③平成19年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
審議の中で、広報事業の講習会や研修事業の研究発表会、見学会などを建設系CPD協議会(土木学会、建設コンサルタンツ協会などの技術者の継続教育制度)の認

定プログラムに登録し、参加者の増加を狙ったらどうか、との意見が提出された。また、事業収益を向上させる方策についても意見が交わされた。

④No-Dig2007ローマ国際会議の件

平成19年9月10日～9月12日にイタリア・ローマにて開催予定のNo-Dig2007国際会議、欧州非開削技術調査団の案内があった。

理事会終了後に簡単な懇親会を行い、理事相互の和やかな交流が行われた。

